

炭焼き教室では火気や危険な道具を使ったり、木・竹などの切り口の鋭い材料があちらこちらに散らばっていますので、周りに気配りをしながら、事故に遭わないように迅速に行動してください。竹の角などにも注意をしてください。

参加者には下記の確認事項を遵守させること。

基本的確認事項

1. 参加者は必ず障害保険又は団体保険の加入をすること。
2. 参加申込書と承諾書の提出または下記に署名をすること。
3. 服装は暑くても長袖と長ズボンで難燃性の物を着用すること。
4. 帽子や簡易ヘルメットの着用とタオル等の用意で頭の保護をさせること。
5. 木や竹の切断の時には保護めがねと保護マスクと手袋等の着用。
6. 蛇・蚊・アブ・毛虫・蜂などの害虫対策の用意(必要に応じ殺虫剤・忌避剤等を用意)
7. 暑い時に子供が熱射病にならないように冷たい飲み物を用意し時々飲ませて体温の上昇を防いでください。

冬は風邪を引かないように温度調節をしてください。

8. 参加者は炭焼きなどでの、いろいろな知識を吸収し勉学に励むこと。
9. 時間を遵守すること。だらだらと動かない、無駄話をしない。
10. 炭焼きの周辺には切り株やとげ植物や漆などがあり注意をすること。
11. 保護者は子供の突然の行動をよく見て事故防止に配慮してください。
12. 突発的な事故や、もらい事故に注意し、責任を他人に転嫁させないこと。
13. 日程表の確認、1日の大まかな行動予定を必ず覚えておくこと。
14. 食事中は座るか動かないで食べること、火気や危険な道具に注意。
15. 自分で持ってきたごみは持ち帰ること。後片付けも忘れずに。
16. 道具を使うときは丁寧にかつ周囲に注意して使うこと、使用後はすぐに片付ける。
17. 実験があるときは説明を良く聞き、そして確認しながら実験を行うこと。
18. 疑問点はすぐに質問する、後で聞き返さないこと。メモをとること。
19. 社会は共同体で動いています。他人の仕事にも協力を惜しまないこと。
20. ボランティア講師などの指導の元での事故でも過失責任を押し付けないこと。

すべて参加者個人の責任又は参加団体で処理すること。自分の障害保険や団体の保険を使うこと。

主催者は安全教育を各学校や参加者の代表者の指導を行うこと。

炭焼き中や花炭作りなど火気の使用時には火気の回りに4個以上水の入ったバケツを用意してやけどなどに対応すること。

緊急時の伝達について話し合っておくこと。